

共感性と話題性の高い取り組みで 県内におけるアバターロボットの認知拡大と就労支援につなげる



採択事業者名 えひめロボティクス障がい者サポートコンソーシアム

コンソーシアム構成員 株式会社ノトス | 株式会社マルク | 特定非営利法人ぶうしすてむ | 愛媛県障がい者ICTサポートセンター | 株式会社オリイ研究所 | ugo株式会社 |

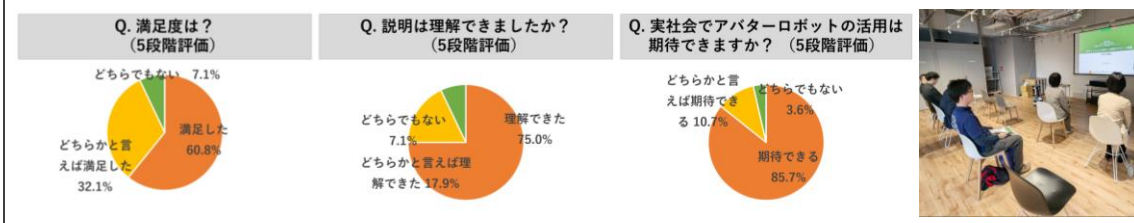
勉強会の実施概要

コンソ内部のみ	含む外部
実施回数の累計 51	実施回数の累計 52
参加人数の ユニーク累計 44	参加人数の ユニーク累計 62

代表的な実施事例

狙いとゴール	来場者アンケートなどをもとに本事業の成果を抽出、アバターロボットの特徴と肢体不自由者雇用の可能性を導入潜在事業者へ訴求するとともに、その後のアプローチにつなげる。
実施の成果	14事業者18名が参加、事前に当取り組みにお問い合わせのあった関西の特別支援学校にも参加いただいた。
実施アジェンダ 協議内容	①事業概要の説明 ②高齢者傾聴サービスに関して(実装場所・パイロットの紹介、研修、サービスの概要、成果報告、質疑応答) ③観光ガイドサービスに関して(実装場所・パイロットの紹介、研修、サービスの概要、成果報告、質疑応答) ④OriHimeについて(特徴、操作デモ) ⑤ugo miniについて(特徴、操作デモ)
参加者の一例	・コンソーシアムメンバー ・県内自治体福祉部署担当者 ・県内観光事業者 ・特別支援学校関係者
次年度以降の 想定アクション	・昨年度・今年度の勉強会参加事業者を中心に導入アプローチを行う ・次年度、保有する予定のOriHime2台を活用し積極的にデモを行う ・コンソーシアム各メンバーのソリューションと組み合わせ効率的な横展開を図る

観光ガイドサービス一般来場者アンケート結果(一部)



データ活用・協議の具体例

重要指標例		① 実装先および実装先の顧客(一般来場者)の満足度 ② メディア等での情報発信数 →地域におけるアバターロボットの認知拡大、導入促進へ ③ パイロットの研修満足度、就労意欲の向上 →研修内容の改善と肢体不自由者の就労支援へ	
		実装前	実装後
高齢者傾聴サービス	取得データ	【実装先】 ・ 普段、高齢者の話し相手が特定の方に絞られるという課題有 【パイロット】 ・ 研修前、ロボット操作をする仕事への就労希望者は3名(4名中)	【実装先】 ・ 実装先8名中、事業は6名、パイロットは8名、OriHimeは8名が「満足した、どちらかと言えば満足した」と回答 【パイロット】 ・ 研修満足度：良かった4名、研修疲労度：疲れた3名、実装満足度：良かった4名、ロボット操作就労意欲：向上した4名 ※各4名中
	データ活用改善	実装前はデータを活用した取り組み無し	・ 実装先からはアバターロボットを利用して若い世代との交流は高齢者の刺激になって良いと高い評価をいただいた一方で、難聴の高齢者も多く、スタッフがサポートしないとコミュニケーションが成り立たないケースもあった。 →アバターロボットのみでのサービス提供は現状では難しく、今後はサポートスタッフも含めたイベント形式での運用を検討。
観光ガイドサービス	取得データ	【実装先】 ・ 平日の集客に課題 ・ 地域教育機関との連携を模索 【パイロット】 ・ 接客業への希望者は1名、ロボット操作をする仕事への就労希望者は2名(4名中)	【実装先顧客(一般来場者)】 ・ 一般来場者数28名/定員30名 満足度92.9%、理解度92.9%、アバターロボットへの期待96.4% 【パイロット】 ・ 研修満足度：良かった4名、研修難易度：難しかった3名、研修疲労度：疲れた4名、就労意欲：向上した4名、接客業向上意欲：向上した3名、ロボット操作就労意欲：向上した4名 ※各4名中
	データ活用改善	実装前はデータを活用した取り組み無し	・ ugo minilは多機能である一方で、キーボード操作がダイレクトに反映されずらく、タイムラグがあることが研修の難易度を高めパイロットの疲労にもつながった。また、通信環境の問題で会話が途切れることもあり、今後の改善を検討することとした。 ・ 研修自体の満足度は高いが、学生は初対面者との会話で疲労を感じることも多いようである。「その緊張感をどう楽しむことができるか？」次年度は心理的サポートも研修に盛り込みたいと考える。

代表的な実施事例

